

# 都市計画道路を考える 小金井市民の会

第63号 2022年5月12日  
発行 都市計画道路を考える  
小金井市民の会  
連絡先 電話090-7847-3968

## 都市計画マスタープラン素案パブコメ意見まとまる 都市計画道路意見346件中、計画肯定9%、否定意見90%、混在意見1%

昨年12月から1月にかけておこなわれた市の都市計画マスタープラン素案に対するパブコメ（市民の意見募集）の結果と市の検討結果が4月11日、ホームページ上で公表されました。意見の多くが都市計画道路の見直しや中止を求めるものでした。東京都が2016年におこなったパブコメ、小金井市が昨年3月におこなったパブコメに続き、多くの市民が計画見直しを求めていることがあらためて浮き彫りとなりました。意見の一部を紹介いたします。（意見の一部のみの紹介となりますがご了承ください。（見出しは事務局でつけました）

（意見最初の数字は市の公表した意見一覧の通し番号です）

### 29 野川は都会のオアシス

都市計画道路として、示されている道路は「現在道路がない」とされていますが全く「無い」訳ではなく、人と自転車が行き交うために充分なほどの「道」が通っている箇所も多く存在しています。其処には、生活するには不

自由なく、人々が憩いの場として生活の一部に欠かせない、自然に溢れる野川が存在します。野川は、都会のオアシスとして都内でも稀少な自然に溢れた場所であり、地域の住民はその自然と長年、共存共栄し大切に守り続けてきた場所でもあります。その貴重な地域を、他の地域と同様に人の手を加える事で二度と戻らない状態に変えてし

まうことは、大変残念でなりません。SDGsを推進する流れとは逆行しています。この地域に於いては、既存の幹線道路を利用する事で、充分だと考えます。何をそれほど時間を短縮して移動する必要があるのでしょうか。既存の道路にどれ程の不便があり、この道路建設を計画しているのでしょうか。具体的な必要性を数字で検証した事はあるのでしょうか。スピードを求めるだけの経済発展は最早行き詰まりを見せている社会において、自然界、多様性を無視した開発計画を見直さずして、この地域の、ひいては東京都のこれらの未来を無視するのに等しいと考えます。60年前の古い計画は、必ず考え直すべきです。



41 レッドリスト多く生息  
優先整備路線3・4・1と3・4・1  
1についてカワジシャ、キンラン、ミクリ等の植物、鳥類のオオタカ、魚類のドジョウ、ミナミメダカ、昆虫類のエノキカイガラキジラミ、モンスズメバチ、底生動物のナガオカモノアラガイ等、環境省レッドリスト2020掲載  
載種が多く住んでいます。失うものの価値の方が断然大きいです。この美しい自然は破壊するべきものではありません。

### パブコメ意見内訳

提出者	314人	
意見総数	430件	
道路計画道路	346件	
計画道路以外	84件	
道路346件の内訳		
計画肯定意見	30件	9%
計画否定意見	312件	90%
混在意見	4件	1%
（策定委員会での市の答弁から）		

### 小金井市がマスタープラン（素案）修正案を公表

小金井市は、都市計画マスタープラン素案を修正する案を都市計画マスタープラン策定委員会に提示し、その後、ホームページ上で公表しました。昨年12月に素案を公表し、市民説明会、や

パブコメで市民の意見から寄せられた意見や市議会での意見などを踏まえて、修正されたものです。都市計画道路に関する主な修正点をお知らせします。（詳細は4面に記載）



金欄（武蔵野公園）

パブコメ資料は376ページ。ホームページのほか、公民館などで閲覧できます。

「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/) <https://koganeiroad.jimdo.com/>

「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

### 329 小学校で武蔵野公園へ

11年前、お父さんが幼年時代から過ごし、野川公園や武蔵野公園、野川やはけの道などとても自然環境に恵まれた、小金井市東町に移住してきました。けれども、今から6年前に、お母さんの友達から、東京都の決めた小金井の2つの計画道路の1つの計画道路の真下になってしまうことを教えてもらいました。前回につづいて市役所から市の将来の街を作る計画について、祖父のお話を聞いて理解したことを書きました。小金井市は東京から25分で恵まれた大きな公園、野川公園などや、野川及びそして国分寺方面の湧き

### 151 車両進入対策にならない

20年先の小金井市の街づくり、将来像のあるべき姿も大切だが、現状の足元の課題をスルーして将来像はない3・4・11道路が出来れば二枚橋への生活道路への車両の進入が少なくともるように記載されているが、大型道路が出来れば、車両台数が増え、時間帯によっては渋滞が発生することが予想される。そうすれば、渋滞を避け二枚橋への生活道路への車両の進入が考えられ、車両台数が現在より増加し、現在よりさらに危険度が増す。加えて都市計画道路完成まで10年とも20年ともあるいはそれ以上の年月がかかり、それ迄何の対策もせず放置しておくのか？今できる事から対策すべきである

水が流れ込む野川、そして野川沿いのハケの道など、いろいろな植物や動物がすんでいる、種類の多い、珍しい動植物に恵まれた公園広っぱがあります。植物の種類などはかなり珍しいものがあるようです。私に通っている、小学校では、田植えやスマイルをそだてたり、武蔵野公園に出かけたりして花や木の学習をする遠足等があります。学校が終わってから夏にはサンダル持参して、川に入って友達と楽しくあそんだりしています。そんな緑豊かな自然に触れる体験を授業中に取り組んだりしていません。その自然を壊すような道路は作らないでほしいです。

と考えます。狭い道路の拡幅等改良などの今の課題を解決するため整備すべきは整備することを提案する。



初夏の野川

### 202 現行道路は本当に渋滞か

現行道路は、本当に渋滞しているのか？この点が疑問でなりません。私は店をやっている23年間小金井地区で宅配をしておりますが、結論として「小金井の道は渋滞していない」宅配は、武蔵野、三鷹、府中、調布、国分寺など近隣にも行きますが、他に比べて明らかに空いています。連雀通りを三鷹から小金井方面に向かう時、井口新田の交差点をすぎるとはつきりと交

### 237 3・4・3道路不要

「3・4・3号線」はマスタープランから削除してください。理由(1)該当する東町4丁目、中町2丁目の区域には、すでに「農工大通り」、「連雀通り」の大通りが2本通っており、同区域内における2道路間の距離は僅か300m〜350mです。マスタープランは、この区域に更に新しい道路

通量が落ちてホツとします。連雀通りからオーケーストア方面の右折車線を作っただけで、劇的に流れが良くなったので、これでもう1つ「いなげや」方面への右折車線さえ作れば全く問題はありませぬ。南北に走る道路も、小金井公園で行き止まりでは、効果は期待できません。平日は空いているし、混雑する土日は、到着点の五日市街道が渋滞するのでそんな道使う人がいるのでしょうか？

3・4・3号線を通すとする案を掲げ続けていますが、何故、この区域を道路だけにすることが必要なのでしょう。か。実地検証を行えば、このような「案」は無意味であることは明らかです。もし、素案通り道路をつくれれば、当該区域の住民を騒音、大気汚染、交通事故、コミュニティ破壊、の危険に晒し、百害にあつて一利なしの事態を招くこととなります。

### 86 五日市街道拡幅は公害に

(1) 五日市街道を拡幅(玉川上水を挟んで上下線をそれぞれ2車線(以上)にする)した場合、玉川上水への車公害だけでなく、近くの自宅への騒音も懸念されます(環境破壊)。よって本計画(小金井市都市計画マスタープラン)は大反対です。

(2) 緑中央通り(3・4・12号線)がやはり自宅近くを通っていますが、車の交通量はさほど多くもないのに、更に狭いとも思えないのに、道路を拡幅するのはさっぱり理由がわかりませぬ。よって他の道路(上記の五日市街道も含む)も含めて本計画には大反対です。



### 157 大臣決裁ない不備が判明

都市計画道路は、街づくりの骨格を占める重要な要素である。その都市計画道路の決定は60年前の当時(昭和37年)旧都市計画法で建設大臣が承認し、官報に掲載され正式に決定されるものであるが、当時の建設大臣が署名された書類(告知案)

が2重線で消されたままで大臣の署名されたエビデンスが無く、決裁書もありません。当時の都市計画法に定める要件を満たしておりません。(小金井都市計画課も既に確認済)

小金井市はこの道路決定は東京都からの決定通知により決定されたものとしておりますが、例えば小金井市で重要な書類に決裁者が市長である

### 212 延焼遮断帯の効果なし

「延焼遮断帯の形成」効果への意見です。まず、幹線道路の幅員20〜30m程度の道路によって市街地火災の延焼遮断ができるのでしょうか。市街地火災では延焼し易い風下側への飛火が避けられず(過去の幾多の事例から、数百メートルは優に飛散する)、また熱風・有毒ガス等によって消防活動も困難になるので「効果が期待」できません(このことは最近の強風下での糸魚川火災や無風状態下での阪神震災火災において実証済みです)。したがって、地震時に懸念のある大規模火災時の飛火への対応や消防活動への支障に関しては別途対策を講じることが必要であり、道路のみによって阻止することは困難です。また、「効果が期待される」という用語(文法的には「する」への受身用法であり、他人事の語感をもち)は多分に不確実性を含むので、

道路整備という公共事業の根拠としては不適切です。一方で市民に対して道路が出来れば住宅等の不燃化・難燃化は不要との誤解(幻想)を与えかねません。したがって削除すべきです。なお、道路沿線の不燃建築化も行うとの反論もあるかと思

います。不燃建築帯は民間開発頼みであり、いつ完成するか分からないこと、区画道路との接道部分・沿道建築物間の隙間の発生が避けられないこと(将来も決して連続した建築帯ができるわけではない)、さらに、将来に不燃建築物が出来ても高さ30〜40メートルでは飛び火はその上を飛散することなどからも、延焼阻止の「効果が期待される」とはいえません。元来、都市計画における道路沿線の「防火地域」規制は道路整備上の誘導策(地権者への容積緩和)として導入されたものであり、延焼防止が主目的ではありません。



とした場合、市長が署名したものが署名後2重線で消された書類が、正式に決定された書類と認定するでしょう

### 368 人口減少下で必要か

小金井市では2030年をピークに人口が減少し、高齢人口が増えるとしている。それは車の保有台数も減るといふことだ。この計画は60

年前のもので、当時とは状況が変わっているため新たな理由をつけなければならなかった。つまり道路計画ありきで、必要でない道路を作るために理由をこじつけたと思えるのだ。また生活道路に車が入ってくるのを防ぐために必要と言っているが、生活道路に入らないよう規制をすれ

ばならない。この計画は60年前のもので、当時とは状況が変わっているため新たな理由をつけなければならなかった。つまり道路計画ありきで、必要でない道路を作るために理由をこじつけたと思えるのだ。また生活道路に車が入ってくるのを防ぐために必要と言っているが、生活道路に入らないよう規制をすれ

### 281 ごめんなさいではすみません

環境概況調査委託(2北南一小金井3・4・11外1路線)報告書も

見ました。そこに住む動植物は、生息条件、植物、昆虫や虫や鳥、各生物が絶妙なバランスで生息しています。何かひとつ条件が変わることです。例えば橋げたでの日照条件、風の流れ、排気)同じままでいられるとは限りません。コゲラやカワセミ、タヌキ、カブトムシ、まさか小金井で見れるとは思っていなかった生物たちですが、本当に見ることができ、このままであってほしいと思

うか?この計画決定に小金井都市計画課は市民からの疑問を真摯に受け止め事の事実に向き合って欲しい。

ばいいのではないか。あくまでも車を優先するから、車に不便がないように規制をかけず道路を作る。道路計画は車優先の考え方だ。歩行者(人)優先の考え方であれば、車への規制をするべきだろう。

マスタープランのテーマとして、「人」「みどり」「まち」があげられている。それらを大事にするならば、「人」を優先しない、車優先の道路計画は見直さなければならぬと思う。道路計画の見直しを明記してください。

ます。配慮はしました、結果がどうか知りませんが、あらごめんなさいね、では済まされません。

### 181 野川流域遺跡破壊やめて

現在日本最古と言われている約38〜39,000年前の神津島産黒曜石が出土する野川流域遺跡。これらを破壊する道路計画は今すぐ止めて下さい。小金井の宝・野川の遺跡を守りましょう!



# 都市計画マスタープラン（素案）の一部を市は修正

道路・交通の方針のなかで修正した主な部分を紹介します。（太字・アンダーラインが修正部分）

<土地利用の方針>では、

・国分寺崖線（はげ）、野川及び公園などは、自然環境を学ぶ場であるとともに、温室効果ガスの吸収、ヒートアイランド現象の緩和及び生き物のすみかなど多様な機能を有していることから、これらを保全し、活用することで、魅力ある自然と都市が調和した土地利用に努めます。

<道路・交通方針>では、

## ① 都市計画道路の整備方針

・東京都及び関係市と連携して、地域のまちづくりの特性、整備済み・着手路線との連続性、道路ネットワークの形成及び国分寺崖線（はげ）、野川、玉川上水及び都市公園など自然環境・景観などの保全を勘案して、必要な道路整備を計画的に進めます。

・今後、長期間にわたり事業化する時期が未定の広域幹線道路及び幹線道路については、社会経済情勢及び地域のまちづくりの変化などを踏まえ、東京都及び関係市と連携して都市計画道路の検証を行い、必要に応じて、見直すべきものは見直していきます。

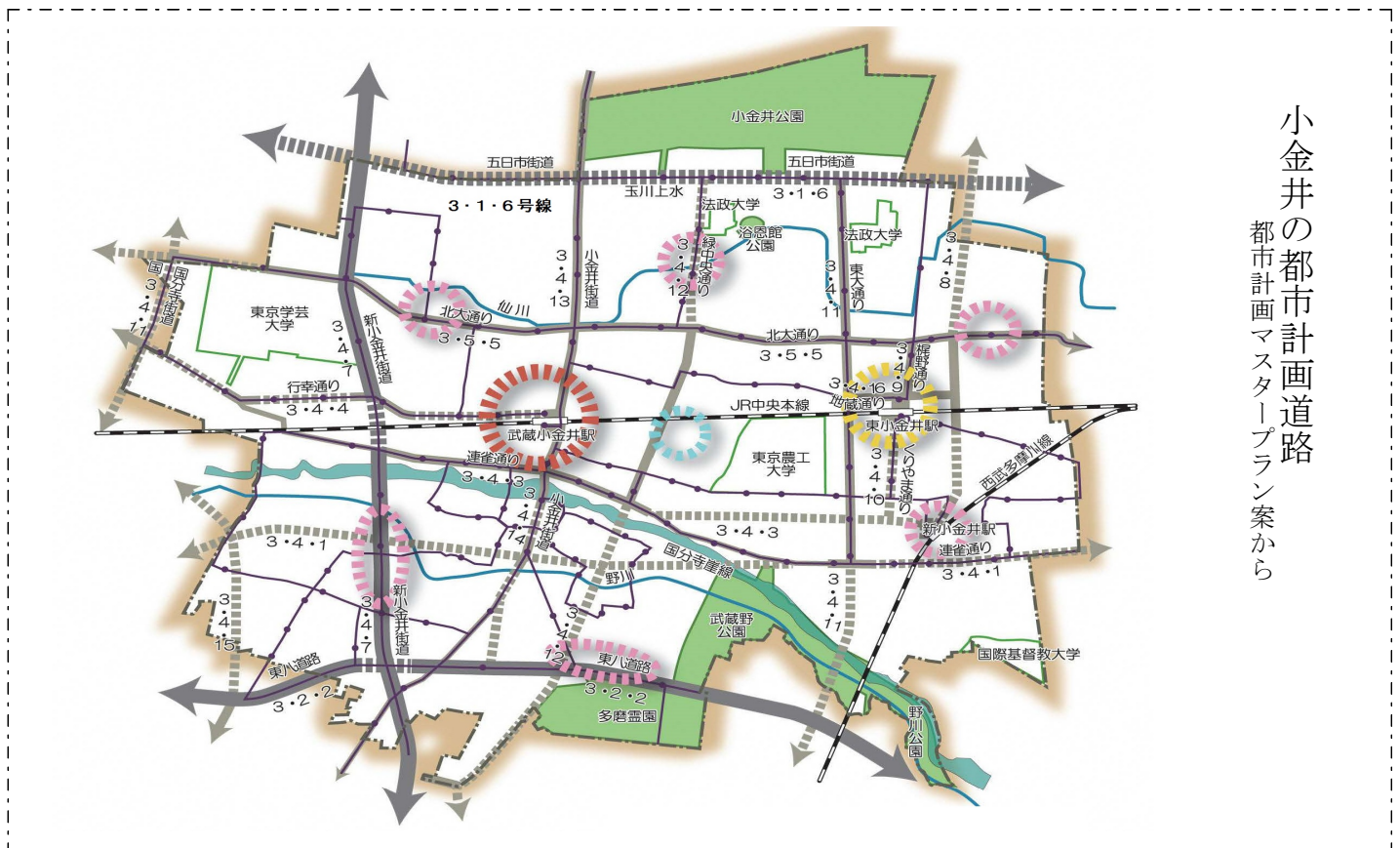
（「市は課題解決に向けた対応を東京都に要望します。」を削除）

・事業を進めるに当たっては、適切な情報提供、市民との対話など丁寧な説明及び生活の継続性に配慮した・市民への対応を行うとともに、玉川上水など自然環境・景観などに配慮することを要望します。

・事業を進めるに当たっては、適切な情報提供、市民との対話など丁寧な説明及び生活の継続性に配慮した市民への対応を行うとともに、国分寺崖線（はげ）、野川及び都市公園など自然環境・景観などに配慮します。なお、東京都が事業を行う路線については、必要に応じて、課題解決に向けた丁寧な対応を東京都に要望します。

## 東京都からの修正意見についての小金井市の対応

市区町村の都市計画マスタープランを策定する場合は、事前に東京都と協議しなければならないと都市計画法に定められていますが、この案について、東京都から「都市計画道路の整備方針」の部分について、<「長期にわたり事業化する時期が未定の幹線道路について見直すべきものは見直す」とあるのを、「優先整備路線を除く未着手路線である幹線道路について見直すべきものは見直す」に修正願います。>と、「見直し対象から優先整備路線を除くようにとの修正意見がだされたが、市は修正せず、原案通りとしたことが策定委員会で、報告されました。



## 市議会の7名の市議が計画見直し東京都に申入れ 漢人都議ほか3会派の都議も

4月22日、都市計画道路の見直しを求めて、小金井市議会の5会派7人の市議会議員による東京都への申し入れが行われました。

小金井の大切な自然環境を壊す都市計画道路の見直しを求める意見書を小金井市議会は、11本も採択していますが、直接の申し入れは4年半ぶりです。昨年当選した漢人あき子都議の仲介で実現しました。

この場の設定にむけて、都議会5会派で副知事に要請し、当日も



要請行動をおこなった市議会議員

左から、村山市議・水上市議・森戸市議・坂井市議・2人おいて、安田市議・白井市議・田湯市議の7人



この要請には、都議会からグリーンな東京の漢人あき子都議のほか、共産党の里吉ゆみ都議、自由を守る会の上田令子都議、生活者ネットワークの岩永やす代都議が同席しました。

4人の都議が同席しました。優先整備路線となっている小金井2路線の、国分寺崖線と野川のエリアは東京都で唯一の自然再生地区でもあります。小金井市にとどまらない東京都の道路行政と環境保全のあり方にかかわる重要な計画だからです。

この日は道路建設を実行する建設局だけでなく、優先整備路線に選定した都市整備局も出席し、1時間にわたって、市議からのさまざまな質問に答え、意見書の束と要請書を提出しました。

## 市民有志が国会議員と環境省・国交省に要請行動

4月14日、日本共産党の山添参議院議員と市民有志が、小金井の3・4・1号線と3・4・11号線の中止・見直しを求める要請行動を環境省と国交省にたいしておこないました。

環境省に対しては、「自然再生推進法に基づく『野川第一・第二調節池地区自然再生事業』の対象地域を通過する計画道路になっている。見直しすべき」と求めました。

国交省に対して「住民合意もなく、自然環境や住環境を破壊する事業はみなおすべき」と求めました。

要請行動には森戸市議と田湯市議が参加しました。

この要請行動に先立って、3月



26日、山添議員は地元の住民の案内で3・4・11号線計画地を視察し、武蔵野公園では野川ほたる村で作成して、掲示されている「ハケの森と野川と草原の生態系」のマップで住民から説明を受けました。

写真上 3・4・11号線の住宅地を視察  
写真下 野川再生事業で野川の自然護岸復活の工事の様子や武蔵野公園の生態系を説明



# 武蔵野公園のスピーカー工事に異議

とる

武蔵野公園の一角に四角いコンクリートが埋め込まれ、その間の草が掘り返されていたのを見つけた市民が、都の西部公園緑地事務所に問い合わせた結果、説明会が4月24日に行われました。

公園の緑地に高さ5mのスピーカー支柱が建てられ、その間に60cm以上の深さの溝を掘って、ケーブルを埋設し、このケーブル点検用のハンドホール（マンホールの小さいもので、縦横45cm、深さ75cm）を40個以上、コンクリートの蓋が地表面に露出した状態で建造されるというもの。

設置目的は、緊急時に集まった人に知らせるための防災用と言いつながら、通常時も公園にいる人に対する注意を呼び掛けることにも使用す

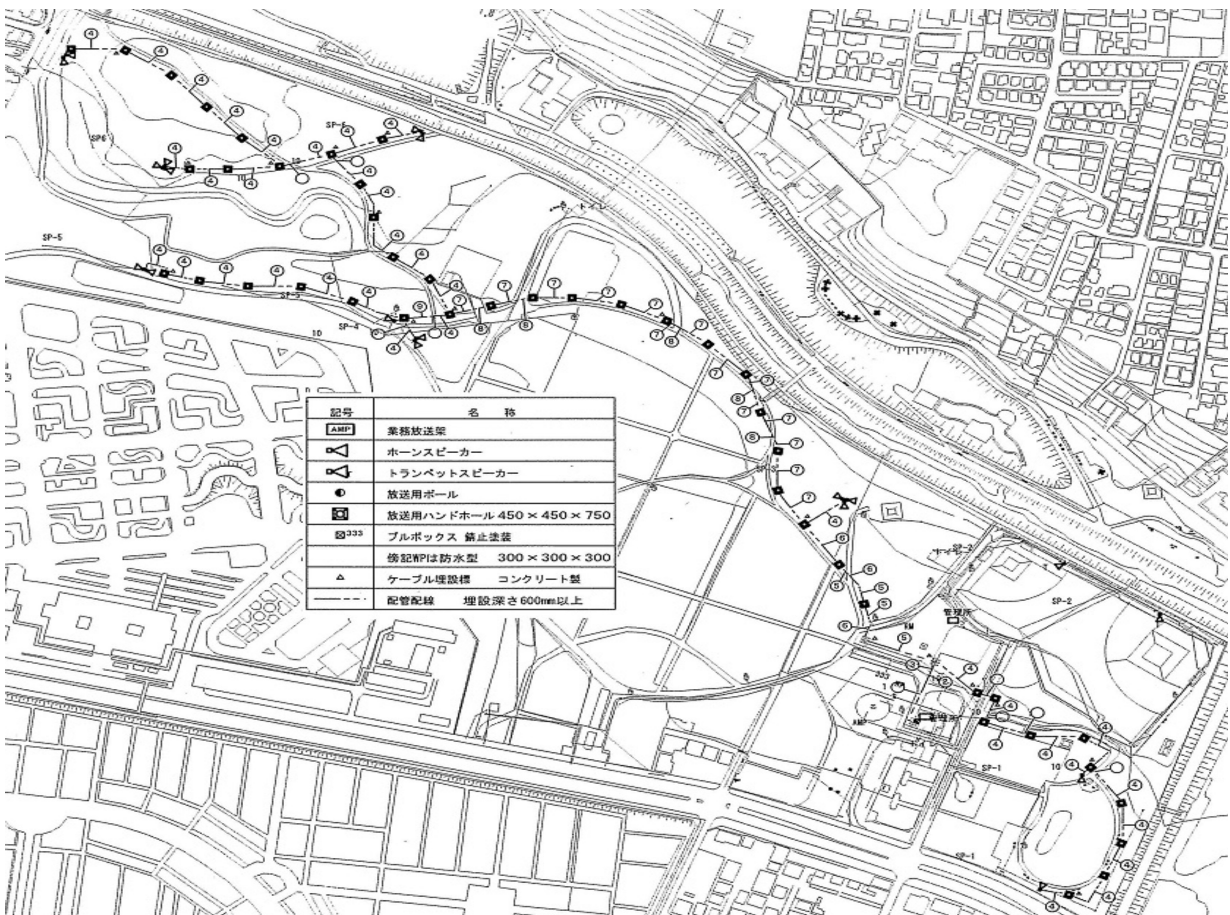
いう。

50人近く参加した市民からは、この公園には小金井市と府中市の防災スピーカーの音が届くので、新たなスピーカーはいらない。武蔵野公園の自然を破壊することになる。市民説明をなぜ事前におこなわなかったのか。工事を中止して、改めて市民説明会をおこなうことなどの意見がその場で見られました。

その結果、工事を中止して、あらためて説明会を行うことを公園事務所は約束しました。



上：説明を聞く住民  
下：既に設置されたハンドホールの蓋



武蔵野公園のスピーカー工事用の図面 小さい黒い四角の点々はハンドホール（縦横45cm、深さ75cm）を公園の草地を掘ってケーブル点検用とする。表面はコンクリートの四角い蓋を被せる。